

障害を持つ方が安心して暮らせるまちの実現に向けて

目黒区議会議員
佐藤 昇



目黒区では、目黒区障害者計画に基づき、障害を持つ方それぞれのニーズを踏まえた、生活や就労の支援が進められています。障害を持つ方のニーズに的確に応えていくことは、障害を持つ方が、地域の中で安心して暮らせる原動力となるものと考えております。

野村理事長をはじめ、社会福祉法人『もえぎの会』の皆様におかれましては、障害を持つ方の、地域での生活や就労の支援にご尽力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。また、今年度中に開設を予定している、第四中学校跡地の障害者グループホームにつきましては、運営法人になられるとのことをございまして、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

さて、『もえぎの会』が運営されている『しいの実社』のクッキーやパン、工芸品は、その高い品質により、多くの方から支持されております。目黒区総合庁舎1階ロビーでの出張販売の日には、多くの方が行列に並んで購入している姿を拝見いたします。私も『しいの実社』のクッキーのファンの一人でございます。

施設の運営等におきましては、法人の皆様が、高い志を持って施設利用者の方々へのきめ細やかな支援を行うなど、日々の活動に取り組まれていることに、本当に頭が下がる思いでございます。皆様の掲げる『自助自立』の精神のもと、活動が一層充実されますことを心より願っております。

区議会といたしましても、障害を持つ方々が、地域に愛着を持ちながら、安心して暮らせるまちの実現に向け、行政へのチェック機能を十分に果たしていくことで、皆様の期待と信頼に応えてまいりたいと存じます。

結びに、『もえぎの会』の今後の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

第16回しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月25日(土)開催予定で、恒例の後援会のバザーも企画しています。献品に、ご協力をお願いいたします。11月10日(金)までに、ご連絡をお願いいたします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本、日本人形の類、不揃いの食器、古着

(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153 岡田)



沢山の方に参加していただき、感謝の気持ちを表すような企画を進めています。来場された方が笑顔になる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られており、平素よりお世話になっておりますお隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。

もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

施設長 小平真理

7月8日(土)に目黒区合同庁舎大会議室にて、恒例のもえぎの会事業報告会・総会を開催しました。当日は最高気温34度を越え、暑い日でした。行政・議会、福祉団体などの関係者、後援会の方、ボランティアの方、利用者、ご家族、スタッフなど参加者は164名となりました。

司会進行を岡田なおが務め、最初に、後援会総会を行い、事業報告、決算に続き、事業計画、予算を承認していただきました。

引き続き、事業報告会を行い、理事長の挨拶に続いて、目黒区長青木英二様、東京都議会議員鈴木隆道様より祝辞をいただきました。

もえぎの会の事業報告は、スクリーンを使用して施設長2年目の小平より報告させていただきました。今年度は、東京で運営を開始した障害者施設の自主製品販売ショップKURUMIRU(くるみる)の紹介など、法人の運営状況や利用者、スタッフの様子などを報告させていただきました。



青木区長祝辞

その後、区議会議員の方にご登壇いただき、皆様にお言葉をいただいた後、議長の佐藤昇様の乾杯のご発声で懇親会がはじまりました。料理はしいの実社のランチを担当していただいております葉隠勇進さんをお願いし、ビュッフェスタイルで思い思いに召し上がっていただきました。盛り上がっている中で、目黒区役所、国会議員、都会議員、関係団体の皆様にご挨拶をいただきますとともに、なかなかお会いする機会のない方、お話しする機会の少ない方とも交流できる場となりました。お腹を満たした後、チェロ協会の方と島崎さんによる演奏をしていただき、利用者は、体を揺らしたり、歌ったりして、体で感じ、楽しんでいました。



待ちに待ったお楽しみのお料理



演奏に聴き入る社員のみなさん

閉会では、新たに入りましたスタッフと利用者を紹介し、挨拶していただきました。新しいメンバーをたくさんの方に覚えていただき、皆様に協力していただける機会となりました。来ていただいた方にはしいの実社製品を手土産にお持ち帰りいただきました。日々の活動で、製品を作り、当日開催前に袋詰めをしましたので、お越しいただいた方に喜びのお声をいただきまして、うれしく思いました。事業報告会も14回目を迎え、後援会、家族会の方が準備と当日の運営に協力して、手際よくこなしていただき、スタッフもそれぞれの役割をしっかりと

担い、滞りなく開催することができました。ご協力いただきました方々に感謝いたします。

また、もえぎの会の事業報告会に多くの方に足をお運びいただいたこと、誠に感謝申し上げます。来賓の方や後援会の方に改めてもえぎの会の活動内容、生活、作業の様子を知っていただき、利用者の方、スタッフとも顔の見えるつながりをもてる機会となりました。

今後とも利用者の豊かな生活、幸せな生活をつくれますとともに、もえぎの会にかかわる方々に幸せが届くよう活動してまいります。



クロージング 全員集合

しいの実社 宿泊研修旅行

今年しいの実社では、高齢社員が増えてきたため、若い社員と同じ日程の計画ではなくて、別途、高齢者向けの日帰り研修旅行を初めて計画し、9月1日に実施しました。



ゴマフアザラシと一緒に

目的地は鎌倉。社用車を使用して、利用者5名、スタッフ3名、ボランティア1名の合計9名で出かけました。鶴岡八幡宮にお参りをして、近くの「峰本」で懐石料理に舌鼓。小町通を散策した後は、江ノ島水族館でイルカショーを楽しみました。



鶴岡八幡宮にお参り

これまで宿泊は行きづらくて、日帰りで参加できたというかたもあり、色々経験をしましたので、感想や意見を生かして、来年も、楽しい計画をします。

そして、9月7日から1泊2日で、静岡県伊東温泉に社員52名、スタッフ25名、ボランティア2名の合計79名の大会社で行ってきました。7日は9時にしいの実社を出発し、休憩をはさんで熱海の「浜料理 藤哲」でおいしい海鮮の昼食をいただきました。その後、旅の駅ぐらんぽーとでお買い物をして、宿泊先「伊東ホテル聚楽」に到着しました。



ぐらんぽーと

ホテルに到着してからは、楽しみのひとつである温泉入浴タイムとのんびりリラックスタイム。そして、いよいよ待ちに待った大宴会。

まずはおいしい豪華な料理をお腹がいっぱいになるまで楽しみました。

お腹がいっぱいになったところでカラオケ・タイム。多くの人が歌えるようにあらかじめ聞いておいたリクエ

スト曲を次々に歌って、踊って盛り上がりました。自分の番を今か今かと待つ人、待ちきれず舞台上で一緒に歌って踊る人とさまざまで、限られた時間で、50人を超える社員の希望に応えるために、スタッフの苦労は大変なものです。一旦お開きにして、それでもまだ歌いたい！という人のために二次会へ突入。ひとしきり歌い、満足げに部屋に戻り、21時過ぎに就寝となりました。



総勢79名 全員集合!!



順番待ちのカラオケ

後援会

会員インタビュー

萌木

医療法人社団 博医会

江戸川区船堀3-7-1 今井ビル3階

TEL:03-3869-1773



持丸博先生

都営新宿線船堀駅前の船堀内科クリニックは、1999年に先代から引き継がれた持丸博先生が呼吸器内科専門医として、街のホームドクターとして1日100人を上回るみなさんの診療をされています。

持丸先生ご一家としいの実社の利用者との家族ぐるみのお付き合いから、ご縁ができ、しいの実社製品も、長年に渡り、多くご利用いただいています。「お付き合いの中で、彼の幼い頃からの成長をみていたので、ボランティアで障害者学級や障害者施設での相談医となることも、ためらいなくお受けできました」との心温まるお話も伺いました。

これからも、地域で専門性を活かしつつ、いろいろな相談に乗れる医者を目指したいとおっしゃいます。「患者さんには、言葉が重要で、薬で治すというより、言葉で治す、ということですね。疑問や心配に的確に答えてあげることが大切だと思います。」と、一つ一つ丁寧に話される姿から安心や信頼が伝わってきました。その思いは、診察室を拝見した時、よくわかりました。お嬢様からプレゼントされた先生の肖像画や詩、ご家族や愛犬などの写真がさりげなく飾っており、先生からの自己紹介ではないかと思いました。患者さんが緊張して座り、ふとこの写真や絵に目が移れば、そこから話が始まり、緊張の糸もほぐれ、先生の思いやりを見たようでした。また、実物の薬を表した手作りの表で説明され、患者さんも安心して、一方通行の診療にならないよう心掛けていらっしゃる



目黒区目黒本町2-4-5

TEL:03-3716-0035

天ぷら割烹 川さき

天ぷら割烹
川さき

今年で14年目を迎える「川さき」の暖簾をくぐ

ると、そこにはいつもと変わらない、にこやかなご夫婦の笑顔がありました。ちょうど10年前のこの季節にも、広報誌に掲載させていただくためにお邪魔しました。その間、改装もされ、ますます居心地のいいお店になり、お客様からいただいたとおっしゃる招き猫の置物や絵画が幸せそうにこちらを向いています。

川さきさんは2012年のしいの実祭から、会場で揚げたてのてんぷらを提供していただいています。楽しみにしているファンも多く、実は、しいの実祭の前日は本業をお休みにして準備に力を入れて下さっています。もとは下町のご出身で、お祭りや縁日と名の付くものが大好きとおっしゃるご主人。最初は50人分からスタートした材料も、年を追うごとに増え、100人分にもなっています。土曜開所でもお世話になり、しいの実社で働く人達を見ていて「今の世の中、なかなか働くことも厳しいですが、みんな長く続けて偉いなあと感じますね」とおっしゃってくださいます。しいの実社のほかにも障害のある人との関りで、年に1度、知り合いの先生が特別支援学級の子どもたちと来店されるそうですが、「1年ぶりに会うと成長が見られ微笑ましいですね。なにか秀でているところがあり、普通の人と変わらないなあと感じます」ともおっしゃっています。



お店の前で川崎夫妻

新しいものや流行もののお店が花火のように現れては消えています、変わらない安心するお料理で迎えてくださるお店にはホッとします。てんぷらは体に良いですよとおっしゃるご主人。特にエネルギーを補

大岡山西町会

「沙羅の家 大岡山」のある大岡山西町会の会長、大橋繁夫さんにお話を伺いました。グループホームを建設する前には、町会事務所をお借りして説明会を実施したりして、力を貸していただきました。「沙羅の家 大岡山」は、町会に貢献され、保護司でもあった宮崎ま里様がお住まいだったこの地を目黒区に遺贈され、グループホーム整備計画として公募した結果、もえぎの会が選定され2013年に開所しました。



大橋繁夫会長 や

この近くに住み、ご近所の方が心配されていた方も、「沙羅の家 大岡山」に住み、少しずつ慣れ、一緒に生活しています。また、ごみの集積場所や電柱問題など周囲の環境整備にも協力することができました。

自分たちの住む町を自分たちでよくして行こうという大橋会長たちのパワーには驚きます。行政だけに頼らず、自分たちで積極的に活動をされています。2012年には、孤独にしないきっかけ作り（高齢者が健やかな明るく過ごせる町）事業で東京都の「地域の底力再生事業助成金」を交付されています。

毎月講師を招いて開催される茶話会や七夕会、敬老会、クリスマス会など季節行事の催し等、他の団体のお手本となる活動です。春と秋には、役員やボランティアでお弁当を作り、町内の80歳以上の方に配達していらっしゃいます。また、定期的に、自主防犯パトロールを実施し、3年前には警視庁から表彰されています。昨年暮れの「めぐろ区報」には、「犯罪防止や子どもの安全を守るために地域のみなさんによる自主防犯パトロール」として掲載され、多くの反響があったそうです。違反広告等の撤収もして、環境美化を防犯街づくりに役立て、地域への関心や責任感といった「わが町意識」をはぐくむことにつながっています。これこそが大橋会長のパワーの源だそうです。



警視庁から表彰された自主防犯パトロール

しいの実まつりや事業報告会にも参加していただき、もえぎの会の活動に理解をして下さいまして、これからもより一層の協力をお約束いただきまして、心強い限りです。

新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家

萌木

沙羅の家 お誕生日のお祝い

世話人 酒井良平

暑かった夏、雨の多かった夏が終わり、涼しく過ごしやすいい日が増えてきました。イベントの多いこの時期は、体調管理をしっかり行い、行事、イベントを楽しみたい季節の到来となります。今回は沙羅の家で実施しているお誕生日のお祝いをご紹介します。

8月生まれの利用者さんとボランティアさんのお誕生日を合同でお祝いしました！



バースデーカード贈呈

白いコーヒーとケーキの前でバースデーソングを歌い、バースデーカードはみんなからのメッセージが一言ずつ入った力作です。いつも以上に楽しく平和な一日でした。カードに興味がないような利用者さんも、バースデーカードをきちんと受け取っていました。

沙羅の家では、3つのグループホームで、利用者さん、ボランティアさん、スタッフなどの誕生日のお祝いをしていますので、みなでお祝いを



ボランティアの牧野さんと一緒に

楽しみにするとともに、ケーキやごちそうを楽しみにしています。

碑文谷八幡宮例大祭 清水町会へのご挨拶と南一丁目町会のお神輿

9月16日、碑文谷八幡宮例大祭に参加しました。

週末に沙羅の家に残っていた利用者は、屋台で購入した焼きそばと地域からの差し入れのジュースで、祭を楽しんでいました。

夕方、しいの実社のある清水町会にご挨拶に行きました。利用者は、ビールを少しいただきほんのり気持ちよくなったうえに、ごちそうをいただき、満足していました。その後、沙羅の家の利用者だけではなく大岡山の利用者もしいの実社の利用者も加わり、南一町会の大人神輿と一緒に町内を練り歩き、「ワッショイ！」の声に合わせて、お神輿



南一丁目町会神輿

を担いだり、手を叩いたりして、お祭りを楽しみました。

色々な所からお声がけをいただき、理解が進んでいると感じるとともに、地域の方々との交流をさらに、より深めたいと考えて参加しています。



清水町会の今井会長、林副会長と
記念撮影

威
勢
よ
く



編集後記

今回も、取材等を通して様々なかたにご協力をいただきました。改めて、多くの皆さまに支えていただいている感謝を忘れずに改善や日々の活動を積み重ねていきたいと思ひます。(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)

電話：03-5724-7153

e-mail：shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

